



リソースだより 6月号



令和5年 6月20日 ろう特別支援学校 リソースセンター発行

いつもリソースにきてくれてありがとう！

ジメジメ、ムシムシする梅雨の季節になりました。雨の日が続いて、気持ちもどんよりと気が滅入っていませんか？そんなときにはリソースにきて気分転換してみよう！本を手にとって眺めたり、ぼーっとしたりすると少し気が晴れるかも？ぜひ、来てみてね。

目が合った これが運命の本

リソース前の特設展示では、「目が合った これが運命の本」と題し、本の表紙がこちらを見ている「視線を感じる」本をあつめています。目が合ってビビッときた！と直感で選んでもよし、じっくり見つめあってから手に取ってみてもよし。偶然目が合った本、それが運命の本になるかもしれません！ぜひリソースまで見にきてね。

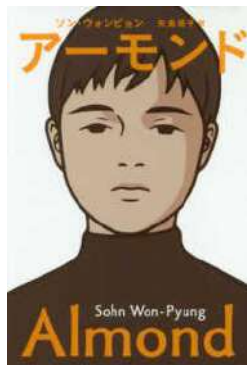


↓視線を感じる本をいくつか紹介します↓

ネルソン・マンデラ

カディール・ネルソン

南アフリカ共和国の元大統領ネルソン・マンデラの伝記絵本。マンデラと、南アフリカのアパルトヘイトについて知ることができます。



アーモンド

ソン・ウォンピョン

扁桃腺（アーモンド）が人より小さく、感情がわからない少年ユンジュ。喜び、悲しみ、怒り、恐怖心もない。ユンジュは激しい感情を持つ暴力的な少年ゴニに出会い、大きく人生を変えていく…。

ハッシュタグ #マイネーム

黒川 裕子

自分の名前が嫌いな主人公。学校で友達同士でも名字に「さん」をつけてよぶ活動が始まる。それに反対する生徒がSNS上で結託し、自分の呼ばれたい名前の名札をつけはじめる…



目で見ることばで話をさせて

アン・クレア・レゾット

1800年代のアメリカ「みんなが手話で話した島」のマーサズ・ヴィンヤード島が舞台の小説。主人公はろう者の少女。著者もアメリカ人ろう者。

高等部で読書発表会がありました！

先日、高等部では読書発表会行われ、今回は4名の生徒が発表しました。紹介

された本をみなさんにも紹介します。



赤ずきん、旅の途中で死体 と出会う

青柳 碧人

誰もが知っている西洋童話をパロディにした連作短編ミステリー。赤ずきんちゃんが旅の途中で事件に遭遇。道中でシンデレラ、ヘンゼルとグレーテル、マッチ売りの少女など次々に登場します。ブラックユーモアとミステリーの醍醐味の伏線回収もありおもしろい。



君の臍臓をたべたい

住野よる

ある日、高校生の僕は病院で一冊の文庫本を拾う。タイトルは「共病文庫」。それはクラスメイトである山内桜良が綴った、秘密の日記帳だった。そこには、彼女の余命が臍臓の病気により、もういくばくもないと書かれていて・・・。



家庭用殺虫剤ここが知りたい！

文藝春秋企画出版部

人の暮らしに関わる虫や家庭用殺虫剤について、疑問や知りたいことをわかりやすくまんがで解説しています。害虫の特徴や害虫による被害、人の暮らしを守る家庭用殺虫剤がどのように作られているか等、害虫から身を守る大切さや家庭用殺虫剤について読んでわかる内容になっています。



もうぬげない

ヨシタケシンスケ

ひとりで ふくを めごうと したけど、ぬげなくなった おとこのこの おはなし。ふくが あたまに ひっかかって、おなかが でていいる。「このまま ずっと ぬげなかったら どうしよう」・・・。ぬげなくても くふうしたら いきて いけるんじゃないか・・・？ おもしろくて なんども よんじゃう えほん。



6月の来館者プレゼント！

高等部図書委員のメンバーが折った、「梅雨のおりがみ」をプレゼント！！

かえる、かさ、かたつむり、あまつぶちゃんなど、いろいろあります。ほしいひとはお申し出ください。

